2022年4月28日

中期経営計画
(LOGISTEED2024)

株式会社 日立物流

中期経営計画(LOGISTEED2024)について

1．LOGISTEED2021の振り返り

2．中期経営計画(LOGISTEED2024)

－1．めざす姿

－2．LOGISTEED2024における環境認識

－3．重点施策

(1) 海外事業の強化･拡大 (アジア圏3PLリーディングカンパニーへ)

(2) 新たな付加価値による事業領域の拡張 (LOGISTEEDの加速)

(3) スマートロジスティクスの進化

(4) ESG経営の基盤強化

－4．投資計画

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

1．LOGISTEED2021の振り返り

物流は新領域へ
LOGISTEED

日立物流グループは　広く未来をみつめ
人と自然を大切にし　良質なサービスを通じて
豊かな社会づくりに貢献します。

■重点施策
1.強固なコア領域(スマートロジスティクス領域)構築のための
M&A・アライアンスも含めたポートフォリオ戦略の実行
2.コア領域を強化するとともにさらなる領域拡大へとつなげる
協創戦略の実行
3.物流領域を基点/起点としたサプライチェーンのデザイン
4.次世代につなぐオペレーションオリジン(現場主義)とその継承
5.環境・社会・ガバナンスと企業倫理

経営理念

経営ビジョン
（長期的にめざす姿）

グローバルサプライチェーンにおいて
最も選ばれるソリューションプロバイダ

中期経営計画
(LOGISTEED2024)

中期経営計画
(LOGISTEED2021)

LOGISTEED：LOGISTICSと、Exceed、Proceed、Succeed、そしてSpeedを融合した言葉であり、
ロジスティクスを超えてビジネスを新しい領域に導いていく意思が込められています。

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

2．中期経営計画(LOGISTEED2024)
2－1．めざす姿

LOGISTEED2024

事業の盤石化と
グローバル展開

DX・LT・現場力で
グローバルなサプライチェーン戦略パートナーへ

■重点施策
1.強固なコア領域構築のためのポートフォリオ戦略の実行
2.コア領域の強化・領域拡大へとつなげる協創戦略の実行
3.物流領域を基点/起点としたサプライチェーンのデザイン
4.次世代につなぐオペレーションオリジンとその継承
5.環境・社会・ガバナンスと企業倫理

中期経営計画
(LOGISTEED2021)

■重点施策
1.海外事業の強化・拡大
(アジア圏3PLリーディングカンパニーへ)
2.新たな付加価値による事業領域の拡張
(LOGISTEEDの加速)
3.スマートロジスティクスの進化
4.ESG経営の基盤強化

中期経営計画
(LOGISTEED2024)

アジア圏３PL
リーディング
カンパニーへ

日立物流グループは　広く未来をみつめ
人と自然を大切にし　良質なサービスを通じて
豊かな社会づくりに貢献します。

経営理念

経営ビジョン
（長期的にめざす姿）

グローバルサプライチェーンにおいて
最も選ばれるソリューションプロバイダ

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

2－1．めざす姿

LOGISTEED2030
強固なパートナーシップで実現する「めざす姿」

ケイパビリティを補完するパートナーとの協創

「SCM全体最適化に向けた高付加価値ソリューション」
「DX推進による顧客利便性の向上と効率化」
「海外向けの一貫したバリューチェーンの強化」
「投資先行型案件への取り組み強化」
「戦略的M&Aの推進」
「プラットフォーマーとしての地位強化」

経営理念

経営ビジョン
（長期的にめざす姿）

そしてその先へ
LOGISTEED 2030
グローバル３PL
リーディングカンパニーへ

中期経営計画
(LOGISTEED2024)
アジア圏３PL
リーディング
カンパニーへ

中期経営計画
(LOGISTEED2021)

- 売上収益　：1.5兆円
- CO_2　：50%削減
- 海外比率　：50%以上

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

2－2．LOGISTEED2024における環境認識

環境認識

- 国内少子高齢化
- 労働力不足
- 世界情勢不安
- SC脆弱性リスク
- 産業構造の激変
- デジタル技術革新
- 持続可能な社会へ
- ESG･SDGs

マテリアリティ(普遍的な重要課題)

1.脱炭素社会への貢献
2.循環型社会への貢献
3.成長を支える多様な人財の確保
4.安全･健康で働きがいある職場の実現
5.人権および責任あるサプライチェーンの構築
6.ガバナンス･コンプライアンス
7.操業時の事故防止
8.リスクマネジメント
9.強靭で持続可能な物流サービスの構築･進化
10.DXの深化
11.協創によるビジネスモデルの構築
12.防災･減災の強化

中期経営計画(LOGISTEED2024)

取組むべき方向性	重点施策
担い手にやさしい職場へ 自動化･省力化	1．海外事業の強化･拡大 (アジア圏3PLリーディングカンパニーへ)
構造変化への対応と 高付加価値化	2．新たな付加価値による 事業領域の拡張 (LOGISTEEDの加速)
物流の持続可能性向上 サプライチェーンの強靭化	3．スマートロジスティクスの進化
環境負荷低減 人権･ガバナンス強化	4．ESG経営の基盤強化

HB WAY
あり方と進むべき道

物流は新領域へ
LOGISTEED
事業･業界を超えた協創領域の拡大
新たなイノベーション

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

DX・LT・現場力でグローバルなサプライチェーン戦略パートナーをめざす

1．海外事業の強化・拡大 (アジア圏3PLリーディングカンパニーへ)

- M&Aの全地域展開：北米(輸送)、欧州(3PL・フォワーディング)、インド(輸送)
- 重点エリアへの投資 ：インド・タイ・インドネシア・マレーシア(自動車、食料品、日用品他)、中国(自動化・省人化他)

2．新たな付加価値による事業領域の拡張 (LOGISTEEDの加速)

- サプライチェーンの課題解決、DXによる可視化と最適化の提案
- 製造と物流の境界領域における新サービスの拡大、VASの展開

3．スマートロジスティクスの進化

- システムと機械が連動した自動化・省力化、DXによる労働環境の向上
- 三温度帯倉庫や危険物倉庫などの倉庫機能強化・充実化
- SSCV※1の活用による輸送事業強靭化と2024年問題・脱炭素化への対応

4．ESG経営の基盤強化

- 災害対策・リスクマネジメントの遂行
- 高度かつ持続的な安全・品質活動
- 脱炭素活動の加速
- VC※2活動の継続・拡大
- DX・LT※3・グローバル展開のための人財強化

※1.輸送デジタルプラットフォーム ※2.Value Change & Creation ※3.Logistics Technology

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

北米：顧客工場の構内物流運営の拡大

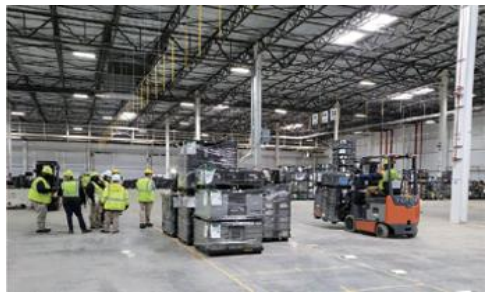
■ シェアードミルクラン・幹線輸送ビジネスの拡大

■ 工場向け一気通貫ロジスティクスの提供
(構内作業・クロスドック倉庫・ミルクラン/倉庫間輸送)

■ フォワーディングの事業基盤・機能強化

■ グループ再編・構造改革

■ M&Aの推進
（輸送力増強：米国(ノンアセット)）



自動車部品 クロスドックセンター

■ ドライバー不足対応

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

欧州：域内３PL事業の拡大

- ■ インターモーダル事業広域化
- ■ 欧州成長エリア・市場での事業拡大
  （ヘルスケア、温度管理輸送、アパレル）
- ■ EC関連事業の取り組み
- ■ M＆Aの推進
  （3PL強化、フォワーディング(アパレル)）
- ■ EV・低燃費車両の導入
- ■ 環境配慮型物流センター

インターモーダルの拡大（欧州）

環境配慮型物流センター（トルコ）

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

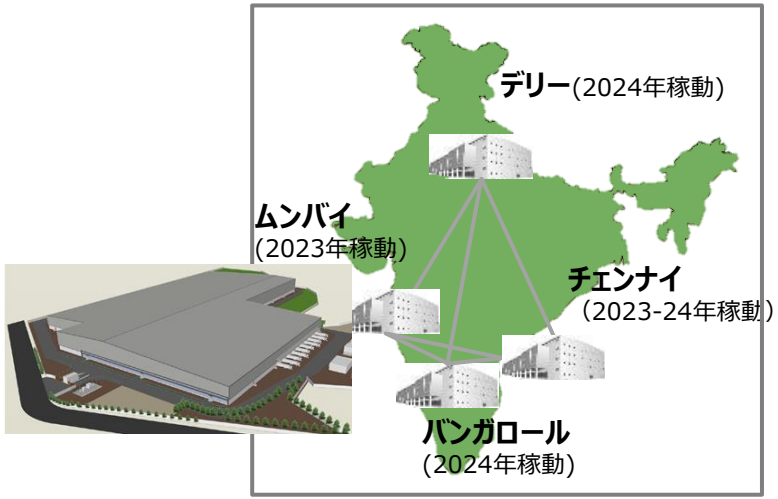
中国：自動化･省力化設備の導入加速

- 自動化･省人化による安全･品質生産性の更なる向上
- 西南エリア拡大、大湾区展開
- 高付加価値物流サービスの強化
- EV車両拡大、太陽光発電

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

アジア：成長市場での投資・事業拡大

- ■ インド、タイ、インドネシア、マレーシア他での投資・事業拡大（自動車部品、食料品、日用品他）
- ■ コールドチェーンの展開
- ■ 地域・域内ネットワークの強化
- ■ M＆Aの推進（輸送力増強：インド(アセット、ノンアセット)）
- ■ 自動化・省力化設備の本格展開
- ■ 環境配慮型・マルチ型物流センター EV車両拡大



４大都市　マルチ型物流センター（インド）

三菱自工共同実証実験(ﾐﾆｷｬﾌﾞ・ﾐｰﾌﾞ)

EV導入（タイ）

ドライ・チルド統合センター（マレーシア）

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

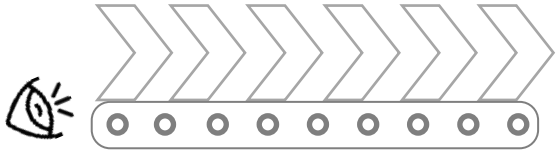
サプライチェーン最適化

【製造業向けサプライチェーンサービス】

SCデータの統合管理

製造系システムと物流系システムの連携

原料　調達　加工　組立　検査　倉庫



VAS※2

調達支援サービス
製造支援サービス
(包装設計・組立・塗装・流通加工など)

サイバー ＋ フィジカル

ロジスティクス管理
メーカー・生産
WMS※3/TMS※4/FMS※5
倉庫配置、在庫管理、
輸送量・頻度、コスト管理
＋リソース計画

計画系業務
MRP※7/ERP等
生産、調達、販売、
在庫・物流計画

実行系業務
ERP※6等
受注、生産、調達、
出荷、輸送オペレーション

【SCDOS※1のサービス拡充】

SCDOS

貨物トラッキング

SSCV、貿易情報プラットフォームと
シームレスに連携

サプライチェーン強靭化(レジリエンス)

排出量の可視化

脱炭素化

顧客サプライチェーンの課題解決、調達・製造・物流直結による全体最適化

※1.Supply Chain Design＆Optimization Services ※2.Value Added Services ※3.Warehouse Management System
※4.Transport Management System ※5.Forwarding Management System ※6.Enterprise Resources Planning
※7.Manufacturing Resource Planning

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

2－3．重点施策
（２）新たな付加価値による事業領域の拡張

付加価値サービス （VAS : Value Added Services）

調達物流・VMI※1

SCDOS Supply Chain Design & Optimization Services

サーキュラーエコノミー

レコビス　SSCV Smart & Safety Connected Vehicle

ファイナンス

ESG・ｻｽﾃﾅﾋﾞﾘﾃｨ

SCDOS Supply Chain Design & Optimization Services

安全教育サービス(VR等)

SSCV Smart & Safety Connected Vehicle

製造業務サポート

包装設計ｿﾘｭｰｼｮﾝ

GDP※2(医薬品)

EC業務・ささげ※3

検品・検査

SMART: WAREHOUSE

※1. Vendor Managed Inventory　※2.Good Distribution Practice
※3.撮影(さつえい)、採寸(さいすん)、原稿(げんこう)制作

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

倉庫事業強靭化（自動化･省力化、DX）

システムと機械が連動する賢い自動化

倉庫マネジメントのDX（WMSとRCS※1の連携）

ONESLOGI 新WMSプラットフォーム…
構築技術 O/Rマッパー ORM Multi DB化 Docker コンテナ化 CORDOVA Multi Device化 DevOps マイクロサービス化 FaaS,CaaS技術

連動

リソース活用の最適化

RCS Resource Control System

データ ↓ ↑ フィードバック

AI
CPS※2

サイバー

データ予測とシミュレーションに基づく全体最適化(オーケストレーション)

フィジカル

＋

顧客ERPとの連携によるリアルタイムオペレーション結合

顧客とのリアルタイム連携強化とSCM高度化を実現

デジタルによる制御･指示

作業管理領域のデジタル化

自動化設備の導入拡大（現場実装の加速）

連動

WCS (Warehouse Control System)

スマートデバイスを活用した生産性向上

スマートウォッチ、スマートフォン、５Gの徹底活用

デジタル機器による見守り、牽制

ドローン、ロボット、監視カメラ、異常検知

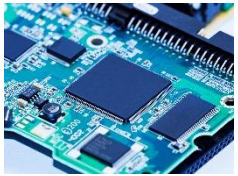
作業管理領域の省力化･標準化と異常検知の高度化を実現

※1.Resource Control System ※2.Cyber Physical System

倉庫機能強化・充実化（三温度帯倉庫、危険物倉庫の整備・拡充）

三温度帯倉庫　環境変化

- 冷蔵・冷凍品　ニーズ高まり
- GDP対策　高度化
- デジタル化(半導体需要拡大)



危険物倉庫　環境変化

- 規制・コンプライアンス対応
- 化粧品・医薬品(GDP)対応
- リチウム電池　需要拡大

環境変化・需要拡大に対応する倉庫の整備・拡充でサービスレベルをさらに向上

マレーシア チルド倉庫

電気や水資源の省エネ化
快適な労働環境

危険物 物流センター

最新危険物自動倉庫
環境・防災配慮型倉庫
➡土地の有効活用、資産回転率向上

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

「2024年問題※」にむけた　輸送事業強靭化

フィジカルの対策

トラック輸送の大容量化、短距離化

ダブル連結トラック、中継輸送、スワップボディ

ダブル連結トラック

配車集約化、シェアリング、自家車両増強

全社と地域の集約管理、共同ターミナル

共同ターミナル

M＆A、事業承継、協創

輸送パートナーシップ強化

デジタルの対策

バース予約と庫内作業の連動→ドライバーの待機時間削減

WMSとバース予約システムの連携

法令対応(ドライバー労務管理)デジタル点呼加速

SSCV-SafetyとSSCV-Smartの連携による

危険地点情報の共有化・可視化→安全性向上

社内データ集約、外部機関データ取り込み

トラックドライバーの労働時間・待機時間削減と労務管理徹底により「2024年問題」対策と脱炭素化に対応

※2024年問題：働き方改革関連法案によってドライバーの労働時間の上限設定等などから諸問題が生じる懸念事項

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

注力分野、SDGsの位置づけ

マテリアリティテーマ
1．脱炭素社会へ貢献.
2．循環型社会への貢献

注力分野①
脱炭素・循環型社会への貢献

マテリアリティテーマ
9．強靭で持続可能な物流サービスの構築と進化

注力分野②
強靭で持続可能な物流サービスの構築と進化

注力分野③
協創による新たな価値の創出

マテリアリティテーマ
3．成長を支える多様な人財の確保
10．DXの深化
11．協創によるビジネスモデルの構築

注力分野を支える基盤

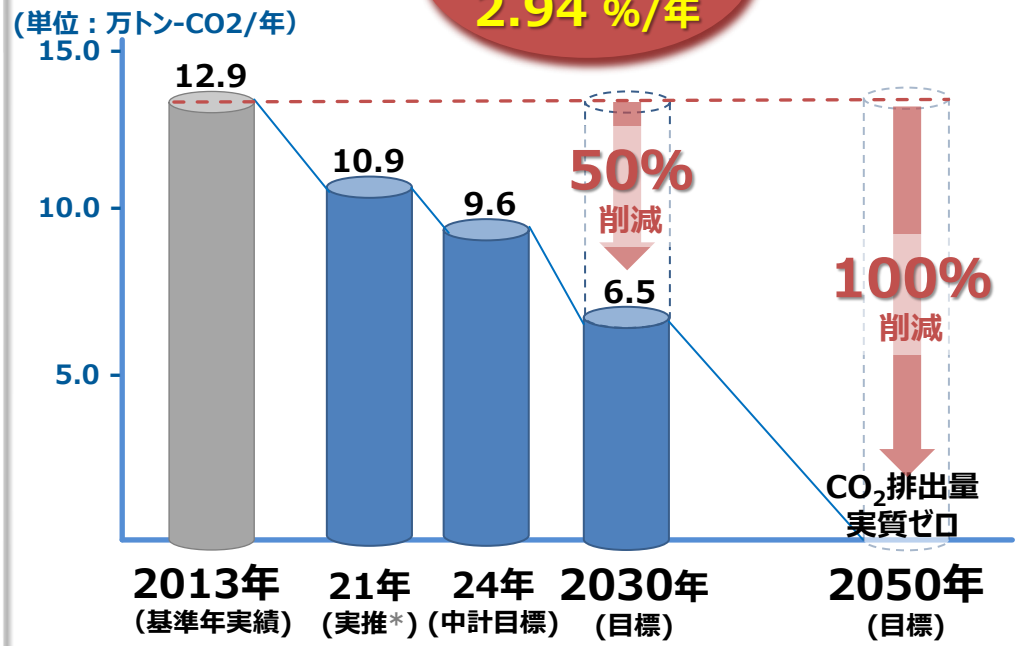
マテリアリティテーマ
4．安全・健康で働きがいのある職場の実現
5．人権および責任あるサプライチェーンの推進
6．ガバナンス・コンプライアンス
7．操業時の事故防止
8．リスクマネジメント
12．防災・減災の強化

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

環境中長期目標（脱炭素化への取組み）

CO_2排出量※1 削減目標

排出量平均
削減率(～30年)
2.94 %/年



CO_2排出量 削減取組

1. 省エネ
2. 電化
3. 再エネ調達
4. 創エネ
5. 排出権取引

脱炭素投資
('24年中計3ヵ年)
50億円

※1 国内スコープ1+2の合計。 ※2 2013年度比。 ※3 中計期間における投資額および費用額の合計規模。 ※4 2030年までの平均削減率。

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

未来の物流センター像（安全・品質・生産性・防火・防犯の見える化）

いままでの取組み

見廻り警備
監視ｶﾒﾗ・常駐警備員
・死角が発生

火災検知・消火活動
煙検知器・消火器・消火栓
・人による消火活動

安全・品質・生産性
安全ｺｯｸﾋﾟｯﾄ
ﾌｫｰｸﾘﾌﾄﾗﾚｺ
SSCV
ｱｲﾄﾗｯｶｰ
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｲﾈｰｼﾞ

安全コックピット

AI認識　ﾃﾞｨｰﾌﾟﾗｰﾆﾝｸﾞ

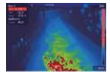
インシデント
危険作業
不審者検知
温湿度管理

異常値を
検知し
アラート発信

これからの取組み

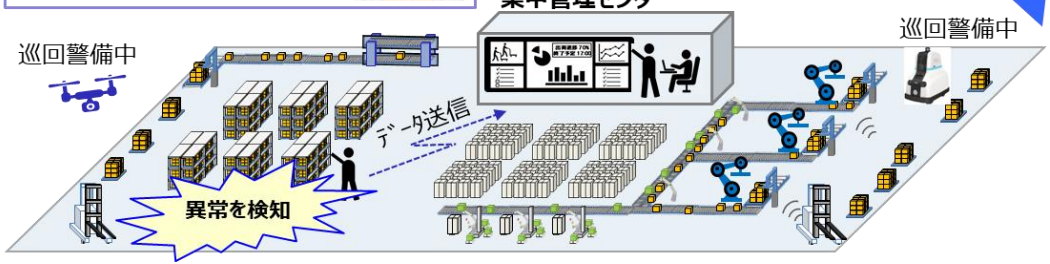
警備の自動化
巡回ﾛﾎﾞｯﾄ・巡回ﾄﾞﾛｰﾝ
・不審者の発見

火災検知・消火活動の自動化
ｻｰﾏﾙｶﾒﾗ・消防ﾛﾎﾞｯﾄ・可動式ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ
・機械による消火活動



安全品質活動の強化
Webｶﾒﾗ・無人ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ
・ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄの即時映像指導
・自動化設備の導入推進

環境管理の強化
温湿度、CO2検知ｼｽﾃﾑ
・火災対策、ｳｲﾙｽ対策
非常用発電機の導入



© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

人財戦略

グローバル人財・DX人財の増強・育成強化でLOGISTEEDを加速

従業員エンゲージメントの向上

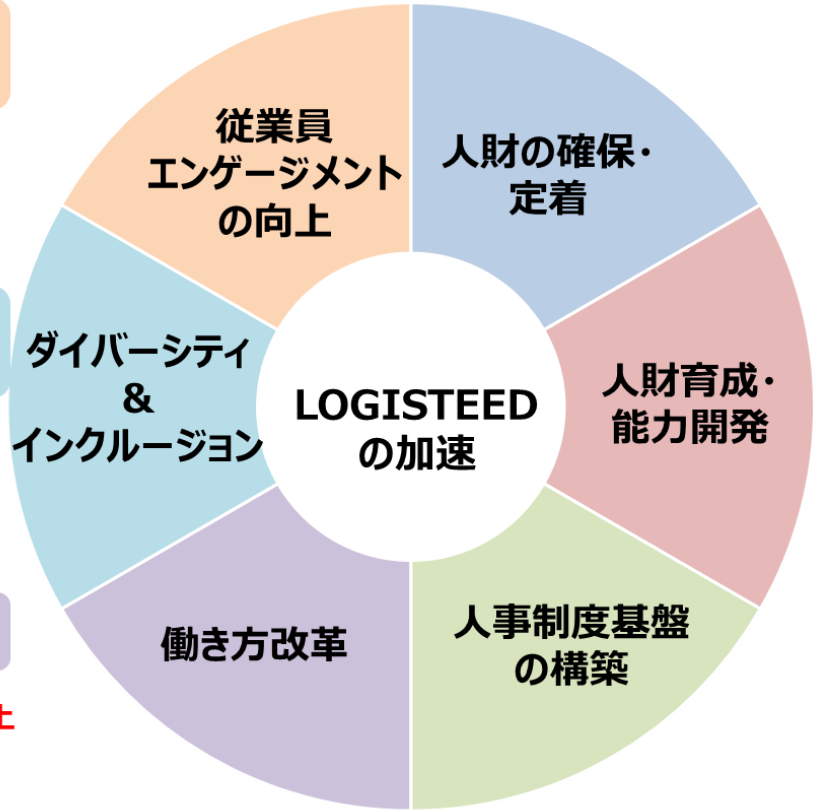
- VC活動の推進
- 従業員サーベイの実施
- キャリア面談の実施

ダイバーシティ＆インクルージョン

- ダイバーシティの理解促進
- 女性活躍推進
- 仕事と育児・介護との両立支援

働き方改革

- DXや改善活動による生産性向上
- 健康力向上



人財の確保・定着

- DX人財、グローバル人財等優秀な人財の確保と定着

人財育成・能力開発

- 現場運営人財、DX・LT人財、グローバル人財の育成
- デジタルリテラシーの向上・リスキリング
- 教育体系の見直し
- 人財／スキルの見える化

人事制度基盤の構築

- ジョブ型人事制度の導入
- 人事マネジメントシステムの刷新

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

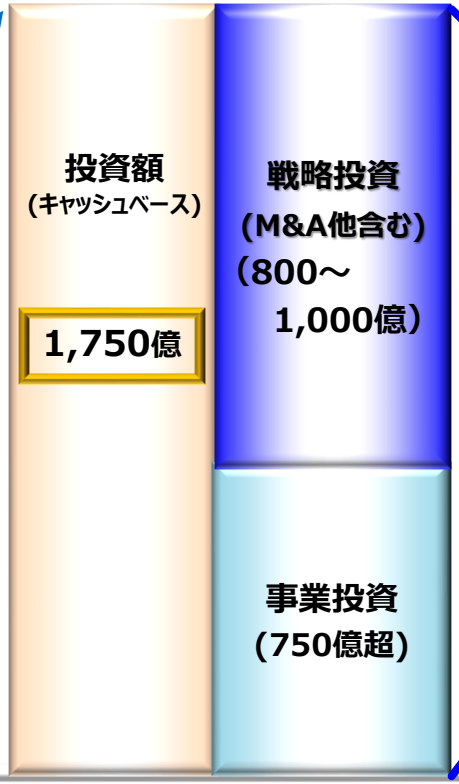
「LOGISTEED」への変化・進化に向けた戦略投資

【LOGISTEED2021(累計)】
＜投資＋配当金＞(実績)

1,041億円

【LOGISTEED2024(累計)】

1,750億円



成長への投資

- ☑海外事業の強化・拡大
- ☑M&A・資本政策他
- ☑事業領域の拡張
- ☑スマートロジスティクスの進化
  （データマネジメント、データビジネス
  輸送デジタル　他）
- ☑ESG経営の基盤強化

© Hitachi Transport System, Ltd. 2022. All Rights Reserved.

物流は新領域へ

LOGISTEED